



考えて行動する人に

校長 小菅 みちる

令和7年度がはじまりました。55人の新入生を加え、全校で195人でのスタートです。生徒はそれぞれ、新しい気持ちで新しい学年を迎えました。いまのフレッシュな気持ちを忘れずに、何事にも精一杯取り組んでほしいと思っています。

7日の始業式には2、3年生に向けて、「考えて行動することの大切さ」について話をしました。石中の校歌に「自治のまなびや」とあるように、自分たちで主体的に自分で考え、そして考えたことを行動できる人になりましょう。

これからはじまる学校生活。生徒一人一人が主体的に取り組み、実りあるものにしていくことができるよう、教職員一同、一丸となって指導に取り組んでまいります。

保護者のみなさま、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

第71回 入学式 式辞

美しく咲いた桜の中、本日ここに、本校第71回入学式を挙行するにあたり、公私ともにご多用の中、父母と教師の会 会長 志村 俊幸様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様方のご臨席を賜りましたことを高い席からではございますが、心より感謝と御礼申し上げます。

さて、55名の新入生のみなさん ご入学おめでとうございます。明るく規律ある学校、石川台中学校へようこそ。今日から皆さんは、この石川台中学校の一員です。石中でたくさんのことを学びます。新しい知識との出会い、友だちとの出会い、感動との出会いなどを通して、人生の中で最も大きく成長するのが、中学生時代だと言えるでしょう。どうか、みなさん自身で、有意義な3年間を作してほしいと思います。

みなさんの着ている標準服は、昨年、開校70周年記念式典でお披露目した新しい標準服です。この、新しい標準服の導入は、現在高校二年生の生徒たちが中学二年生のときに発した言葉がはじまりでした。SDGs ジェンダー平等の観点から時代に合った標準服が必要だ、という意見でした。生徒・保護者を含め様々な会議やアンケートを経て出来上がった新しい標準服です。デザインの細かいところにまで、先輩方の思いがこめられている標準服であることを覚えておいてください。

新標準服のベースは、スクールカラーの緑です。スラックス、スカート、リボン、ネクタイは、男女問わず着用することができます。

ブレザーのボタンを見てください。気が付きましたか。石中の校章がデザインされているでしょう。これも生徒のアイデアです。石中の校章は、知能を表す五つのペンの形で成り立っています。5つのもつ意味は、責任・友愛・礼儀・勤労・共同です。中央に浮き出している「中」の文字は、知徳兼備の中学生であることを象徴しています。

石川台中学校は、思考力に富む、実行力のある生徒、情操の豊かな生徒を育てることを目標としています。ボタンの校章を見るたびに、この教育目標を思い出すことができるでし

よう。

左胸のエンブレムを見てください。このエンブレムは、卒業生のデザインです。真ん中の「I（アイ）」の文字は「ISHIKAWADA」の頭文字の「I（アイ）」ですが、同時にこれは本校シンボルツリーのけやきの木の幹を表しています。上の方にある緑色の部分はけやきの葉です。石中の校庭のけやきの木を見たことがありますか。歴史を感じるとても大きな木です。これからたくさん見てくださいね。



この三年間を石川台中学校で過ごす上で、実践してほしい
「石中生のあたりまえ」をお伝えします。

「石中生のあたりまえ」は全部で3つ。1つ目は「あいさつ・返事は元気よく！」です。あいさつは、コミュニケーションの第一歩。大事にしましょう。でも、「おはようございます」と言われてから「おはようございます」と言うのは、あいさつではなくて、返事です。石中の2、3年生はあいさつがとてもよくできます。みなさんも様々な場面でのあいさつを大切にしていきましょう。

「石中生のあたりまえ」2つ目は「チャイム始業！」です。石中ではチャイムで時間をお知らせしています。よく「チャイム着席」という言葉を耳にするのですが、石中はチャイムで着席するのではなく「チャイム始業」つまり、チャイムで授業をはじめます。このことは、広く「時間の管理をしっかりする」ことにつながります。

「石中生のあたりまえ」最後は、「自ら正すフォーマルゾーン・人を認めるデイリーライフ」です。「自ら正すフォーマルゾーン」は時と場所に応じた言葉遣いや行動をとりましようということ。また「人を認めるデイリーライフ」は、デイリーライフというノートを使用して自分を省みたり相手を思いやったりすることを大切にしましようということです。A組のみなさんは、デイリーライフではなく「連絡帳」と言っています。これから毎日使用することになるので、担任の先生の話をよく聞いて活用してください。

学校生活の中でわからないことがあったり、困ったりしたときには、先生方はもちろんですが、ここに座っている2年生、3年生の先輩に聞いてください。上級生は皆さんのお手本です。どんなことでも親切に教えてくれると思います。この立派な入学式の会場も、心を込めて準備してくれました。しっかりと学習に取り組むことができ、仲のよい頼りになる立派な上級生です。

新入生のみなさんには、伝統ある石中の生徒であることに誇りをもち、本校のシンボルツリーであるけやきの木のように大空に両手を伸ばし、夢をもって中学校生活を送ってほしいと願っています。お互いの違いを認め合うとともに、高め合っていきましょう。

そして、身に付けている標準服は異なるけれど、ここにいる上級生と一緒に、心を合わせ、自分たちの手で、71年目からの歴史を作っていってください。

保護者の皆様、お子様の中学校ご入学、本当におめでとうございます。6年間の小学校課程を無事終了され、真新しい制服に身を包まれたお子様の晴れ姿に、そのお慶びは計り知れないものがあると存じます。大切なお子様を教職員一同、今しっかりとお預かりいたしました。一人一人を大切に育ててまいります。子どもたちは、この3年間で、心も体も大きく成長します。その中で、失敗したり悩んだりして、心が揺らぐときがあるかもしれません。保護者のみなさまにおかれましては、あたたかく励ましながらか自立を促すという視点で子どもと関わっていただけたらと思っています。

結びに、本校の教育に力強いご支援をいただいておりますご来賓の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本校の子どもたちに温かなお力添えを賜りますこと、重ねてお願い申し上げます、私の式辞といたします。

令和7年4月8日

大田区立石川台中学校 校長 小菅 みちる

